

これはやすが大学卒業時からアメリカくる直前までの実現ノートを記憶を辿りながら荒く書き残した自己実現ノートの例です。いくつかフェイクです(笑)。2014年の予測などはほぼそのまま持ってきています。このノートを書き続けて、当時(2007年)は珍しいモバイル系のスタートアップへの就職、渡米という夢の実現の2つを実行し達成しています。

2014年3月04日 (2X歳)

目的

- アメリカに行くためのプラン

プラン

- 改めて英語の勉強。TOEIC800点をを目指す
- 海外に駐在がある企業への転職活動 => エージェントに登録、積極的にあう

英語勉強プラン

- 効率の良い朝に勉強したい。通勤時間が勿体無いので今年中に会社に近いところへ引っ越す
- 毎日朝2時間勉強する時間を確保する => 通勤時間は最悪
- TOEICは毎回受けて年内に800点をを目指す

2014年2月22日 (2X歳)

今後10 , 20 , 30年の予測

- 日本社会
 - 人口構造が変わらないので、少子高齢化の流れは止まらない 高負担、低保障の社会が進む。
 - 所得税、消費税、控除減額など負担が増え続けていく。
 - 財政難から公共サービスの質の低下が肌で感じられる。例えば、でこぼこ道や汚れた街など
 - 社会保障を受ける側年金・生活保護が拡大を続け、事実上日本は詰む。そんな中で、僕らの年金・社会保障がもらえないのは当然と考えるべき。そういう老後を想定して戦略を練る。
 - 最悪、日本脱出も視野に入れておくべき。
- 経済
 - 日本いまだに経済大国ではあるが、成長することはない。内需をターゲットとしたマーケット・企業は縮小するのが基本路線。
 - グローバル世界に目を向けると、中興国が次々発展し、それらのマーケットが非常に熱くなる。東南アジア、南米、アフリカに注目。
- グローバル or 日本
 - いつの時代も、基本は拡大し続けるマーケット・産業で仕事をするのが重要。簡単なことといえば、バブルを探して仕事をするが基本中の基本。今後10年はアメリカにいる方が良い。
- 日本財政

- 社会の構造的に弱者が増えているので、それを支えるための社会保障抑制は不可能。そうすると、財政赤字は拡大し続ける。破綻までいくかどうかはわからないにせよ、財政赤字は内需を萎縮させ、経済の妨げになる。
- IT
 - ITの効率化や既存事業の破壊が進行し、IT派と非IT派の水面下の争いが増す。ただし、マーケットはITを選び非ITは減んでいく。
 - スマートフォンを中心としたマーケットの拡大はすこし鈍化する。日本の鈍化の方が著しい
- 総合評価
 - 結局、半分社会主義の日本 VS ごりごりの資本主義欧米の戦い。社会主義化した日本に勝ち目はない。
 - 日本国は基本悪くなる一方。これは確実。格差の拡大が続いているので、それをささえるための社会保障費の増大。よくなることはありえない。
 - 日本というチーズのサイズは変わらないが、チーズのただ食いが横行。そして、人口がかわらないなかチーズ自体も小さくなっていく。一方、日本以外の国ではまだまだチーズは存在する。バブルを探して仕事をするが基本中の基本。今後10年はアメリカにいる方が良い。

2010年3月21日 (2X歳)

目的

- 40歳までの目標を定める。

大目標

40歳時点で経済的自由人になり、稼いだお金で若い人の幸せを支援する。

- 30代はチャレンジをテーマにする。リスクを取って自分らしく生きる。
- 自分の事業を持っており、サラリーマンではない。
- 年収ベースでは3000万のレベルは超える。資産は3億を超える。
- 自分の好きな場所にすみ、好きな事業をやって成功している。
- 重要なのは自分のやりたいことを重視し、枝葉末節を意識してやりたいことをねじ曲げない事。

2009年12月24日 (2X歳)

目的

- 来年の目標をなんとなく考える

目標

- 今の仕事をしていてもそろそろ成長が止まってきた。転職を考えたい
- 給与も低いので給与がアップできる転職を狙う
- どんな業界？

- 最近好調なスタートアップにジョインする。

アクションプラン

- リクナビに登録するところから始める

2007年6月23日 (2X歳)

目的

- 今後の仕事で何を達成したいか？

目標

- 今の仕事で働きが認められて新プロジェクトにアサインされる

アクションプラン

- 新人賞を狙う。先輩に負けないくらいの強いコミット感。
- 先輩より圧倒的なスピードで仕事を処理する
- 新プロジェクトにアサインされるために、定期的上司とランチを設定する

2006年3月20日 (2X歳)

目的

- どこに就職するか？を考える

どこに就職するか

- なんとなく自分の気持ちはIT企業に入社して、コンシューマーに直接サービスを届ける仕事がしたそう
- ただ、お金持ちになるという目標からは遠のきそう。これはホリエモンみたいに起業などしないときつそう
- 最終的にはビジネス面がやりたいが、ITならまずはエンジニアを目指すべきではないか？
- 自分のやりたいことを実現するには、ITスタートアップ系が良さそう。その中でもモバイルは最も伸びる領域なので、モバイルに張る。

2006年1月01日 (21歳)

目的

- やりたい事をひたすら書く

やりたい事

- お金持ちになりたい。まずは年収1000万突破する
- 30歳までにお金に不自由のない生活がしたい。年に1回豪華な海外旅行でお金に悩まないレベル
- 仕事の的には自分の力でビジネスを動かすような仕事をしたい => 裁量の大きい仕事
- 圧倒的に好きなのは、ゲームや漫画などエンタメのような仕事
- 釣りやテニスも好きだけど、これはあまりお金にならなそうなので一旦諦める
- 最終的には起業なども視野にいれる
- 安定よりもやりたい事を優先したい
- 自分の裁量が大きい仕事がしたい
- 歯車の1つとして働くのではなく、自分の仕事が成果に大きく反映される仕事がしたい
- コンシューマーに直接ビジネスを届けてたい
- 世界中の人にサービスを届けたい
- ITが好きなのでIT関連の仕事がしたい
- 今から伸びていく産業で仕事がしたい
- ゲームの仕事がしたい
- 金融にもちょっと興味がある
- 釣りに携わる仕事がしたい

将来の予測

- 今はまだ大企業が強いがITがますます伸びる。
- お金持ち、不自由のない仕事をするには、メーカーや銀行だときつそう
- ITは唯一日本で向こう10年マーケットが拡大し続ける産業
- 裁量はどうか？ => 小さい会社が多いので好きな事はやれそう
- 大企業に入れないリスク
 - 新卒で大企業に入れなかったらもう入れなくなる可能性は高い
 - 確かにそれは気にはなるが、やりたい事と相反するので一旦考えない